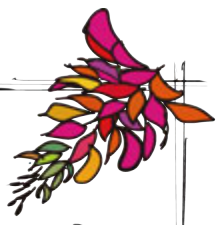




球美の里だより

く み さと

No.8



保 養 再 開 に 向 け て

新型コロナウイルスの影響が多方面に及んでいますが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。また、日本各地で豪雨災害が起きておりますが、災害にあわれたみなさまにも、お見舞い申し上げます。ご自愛のほど心よりお祈りいたしております。

さて、球美の里の保養は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、また保養者の安全確保の観点から、今年2月の113次をもって保養を中止しておりました。

久米島では、現時点で一件も新型コロナウイルスの感染例はありませんが、福島から久米島への移動には、飛行機の使用が避けられず、利用率の高い羽田空港を使うかどうか、他の経路であっても、乗り換えを避けられないなど、いくつかの懸念材料があります。加えて、離島故の久米島病院の現状などを考えたとき、久米島町のみなさまにも迷惑をかけないように、集団での保養の実施にはリスクが伴うと判断し、当面久米島での保養は休止いたします。

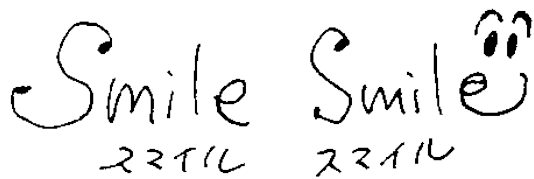
しかし、保養の必要性がなくなったわけではありません。久米島での保養は一時休止しますが、被曝線量ができるだけ低く、かつコロナ感染回避のできる移動が可能なところでの保養を検討します。

久米島における保養の目処がしばらくつかないため、久米島のスタッフは一旦解散としますが、コロナが収束したらすぐに再開できるように、一部スタッフは残り、施設の管理を継続して行います。また、久米島以外での保養においても、久米島スタッフが可能であれば出動する場合があります。今後の状況を見ながら、できるだけの保養を継続していきたいと考えております。子どもたちや保護者のみなさまが、1日も早く久米島での保養に参加できますよう願っております。

みなさまにおかれましても、コロナ禍による被害ができるだけ小さく済みますよう、ご健康を心よりお祈り申し上げます。

久米島のみなさま、ボランティアのみなさま、ご寄付者のみなさま、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

沖縄・球美の里 役員一同



沖縄・球美の里では、112次の年越し学童保養の後、新型コロナウイルス感染拡大により保養が中止になるまで、2回のパパママ保養と1回の母子保養を行いました。保養の様子を写真と文章でご紹介します。

第2回パパママ保養／2020年1月15日～18日

2回目は、球美の里が初めてのご家族も参加されました。初めてお会いしたご家族同士でも、お父さんが鬼ごっこの鬼になり、他の家族の子どもたちも一緒に遊具の周りを走り回る姿が見えて、とても微笑ましかったです。また、この時期はサトウキビ狩りのシーズンで、島の方のご厚意で「キビ狩り」させていただきました。畑のサトウキビを自分で狩り、周りの皮をむいてかじりました。サトウキビを刈るのが楽しくっていっぱい切っていた子、サトウキビがおいしくてずっとかじっていた子、みんなそれぞれ楽しんでいました。



第3回パパママ保養／2020年1月29日～2月1日

東北楽天ゴールデンイーグルスのキャンプ取材で、故郷の久米島に帰ってきていたお笑いタレントの小島よしおさんが、ランニングの合間に球美の里によってくださり、子どもたちとピラミッドで遊んだり、外で鬼ごっこをしてくださいました。子どもたちは大喜び、パパママたちも大盛り上がりでした。小島よしおさん、ありがとうございました！（これで2回目の球美の里訪問です）



1月から2月の久米島は桜のシーズン。久米島に咲く桜は「寒緋桜」という種類で、寒い気候から一転暖かくなると咲きます。この保養中に満開となった桜を見に、だるま山園地に行きました。みんなきれいな桜に見入っていましたが、いつの間にか鬼ごっこになっていました。

第113次保養 母子保養／2020年2月12日～21日

6家族ということもあり、和気あいあいとした雰囲気となりました。例年の久米島の1月から3月の間は天候が良くなく、風が吹きすさび、寒い日が続きます。しかし、113次ではよい天気にも恵まれ、海にも出かけることができました。気温は低いのですが、気合の入った子が、水着になり海に入っていました。見ている大人たちが寒くなるような状況ですが、子どもたちは何のその。たくさん泳いで楽しんでいました。

泥染めではTシャツを染めた後、みんな泥（赤土）を体に塗り、泥だらけになってはしゃいでいました。



保養参加者の声

第110次参加者

原発事故の後、ほんの2、3年は、大きく話題にも取り上げられ世間の注目もあってか、住まいを構えている福島県いわき市においても放射能に対して大人達の意識はそれなりにあったとは思いますが、8年半経過した現在、地元において環境や食べ物に対してふとした折に話題が出て「もう大丈夫、いつまでそんなことを気にしているのか」という雰囲気があるのも事実です。実害が目に見えて発生していないから、放射能という姿が存在していないから、気にしていても効果がある訳でない、そういうことだと思います。正直この保養に参加するまでは、私自身も軽く捉えがちになっていたなとは思いますが、事前に開催した勉強会そしてこちらでの保養中の周りの方々の知識や意見を聞くことによって、大きな対策もとらずに生活してきたことを恥ずかしく感じました。大人の自分ならまだしも、子供達も同じ環境できてしまったこと、反省する部分があります。（中略）

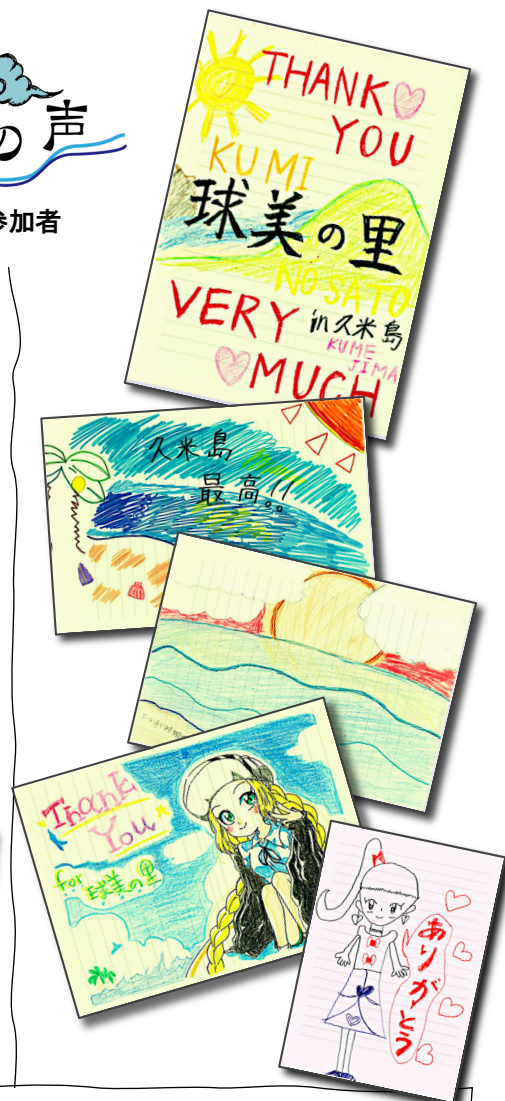
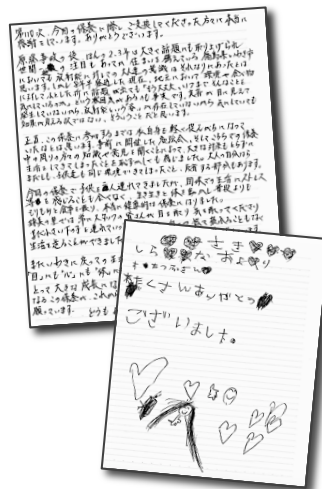
また、いわきに戻っての生活が始まっていますが、こちらでの生活で「目」にも「心」にも「体」にも沢山の刺激を受けられたことで子供達にとって大きな成長になったと思います。

大人にとっても良い勉強となるこの保養がこれからも沢山の親子さん達に提供されることを願っています。

ありがとうございました。

放射能という、目に見えない、怪物=恐怖と共に生きて行かなくてはゆかない私達ですが、皆様の温かな御支援のもと、この美しい自然めぐる久米島で日常から離れ、リフレッシュさせて頂きました。

と子さんの料理もとても美味しく、毎日のご飯がとても楽しかったです。高校生になったらボランティアとして参加したいと思っています。本当に楽しい思い出をありがとうございました。

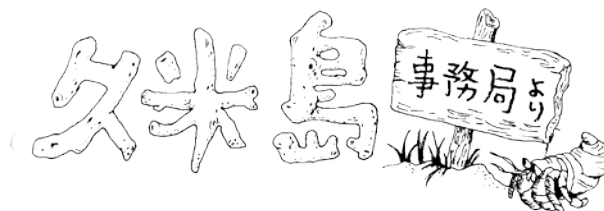


6才の息子は、小さい頃から生きものが好きで、図鑑などで次々と名前を覚え絵を描きます。その様子を見ながら福島の山々の放射線量が高く山遊びや虫が取れそうな公園へ連れていくことができません。息子が遊ぶ公園は、遊具はあるものの下には汚染土を埋めていた時期もあり、母としては複雑な気持ちです。今回、球美の里の豊かな自然の中で、虫取りしたり、楽しいアクティビティの中でそして温かい方々に囲まれて元気一杯に笑顔あふれる日々を過ごさせて頂きました。多くの経験で息子も成長した様に見えます。親もリフレッシュする事ができ、福島に戻ってからのエネルギーを蓄えられた気がします。このような保養に参加することが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。

子供へもこの感謝する気持ちを育み、将来は温かい思いやりのある子に育てたいと思います。

ありがとうございました。（原文ママ）





☆研修会のご報告☆

保養中止中の4月から6月に、普段なかなか実施することの出来なかったスタッフ研修を、Zoomを使って実施しました。看護スタッフや沖縄・球美の里理事、事務局員などを講師に、球美の里や東京本部、スタッフ自宅で研修を受けました。

研修のテーマと内容は以下の通りです。

◇ 第1回 「現場課題ヒアリング」

◇ 第2回 「子どもへの対応について」

集団行動をする際の声掛け、子どもの個別対応の注意点など、球美の里で生活する子どもたちとどのように接していけばいいのかを改めて確認しました。さらに褒め方や叱り方、子ども同士のトラブルにはどのようなものがあり、どういった対応をしていくのか。そして、子どもたちだけで来る学童保養で起こるホームシックの原因と対応を学びました。

◇ 第3回 「子どもの発達について」

子どもの発達の定義、子どもの発達段階の特徴、そして発達障害についての研修でした。球美の里では0歳から15歳までの子どもが過ごします。どの子どもにも同じ対応をしていいというわけではありません。発達段階の特徴を学ぶことによって、子どもたちとの接し方が良い方向に変化することを感じました。また、発達障害については様々な種類があり、それぞれどのような特徴があるのか、どのように接していくのかを学びました。

◇ 第4回 「アレルギーについて」

保養者の生活の場となる球美の里では切っても切れないのがアレルギーです。アレルギーがどのようにして起きるのか、アレルギーによる主な病気は何なのか、主な症状、対処法などを学びました。アレルギーの原因はさまざま、食物や動物、薬で出るアレルギーもあります。アレルギーの原因となる物質（アレルゲン）はたくさんあります。細心の注意を払って保養を実施しなければならないと強く思いました。

◇ 第5回 「民主主義とは何か～一人ひとりを大切にするために」

一人ひとりを大切にするための民主主義の理念と、身近な生活の中で感じ取る感性の大切さを学びました。福島の汚染された地域に住む子どもたちの支援をしている沖縄・球美の里やたらちね・こども保養相談所

の運動は、権力を持たず、武器も持たない人民（意識を持った人たち・志を持った人たち）の非暴力主義のたたかいです。同時に、その運動を支える「思想としての民主主義」「ヒューマンイズム」について考え、育むことの大切さを学びました。

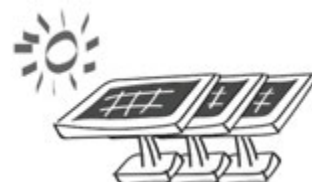
◇ 第6回 「職場でのトラブル防止、職場の良好な関係のために必要なスキル」

人権と人格権の保障について、憲法の条文や労働基準法を引用しながら、ハラスメント（「いじめ・嫌がらせ」）、特に職場におけるパワーハラスメント（「働きやすい職場環境で働く利益を侵害する行為」）の具体的な話がされました。後半では、良好な関係を築くためのコミュニケーション技術「アサーション（「自己表現」「自己主張」）コミュニケーション」を学びました。

☆太陽光パネルのご報告☆

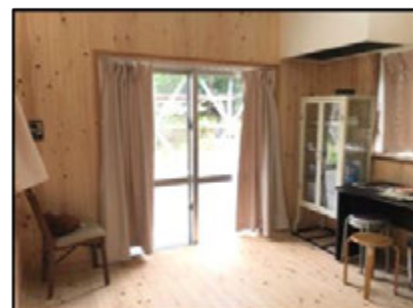
球美の里新館の屋上に設置した太陽光パネル発電ですが、経済産業省からの認可手続きが長引き、今年1月から正式に発電を開始し、キッチンの冷蔵庫などで消費しています。また、沖縄電力による余剰分の買取も2月から始まりました。

せっかく太陽光パネル発電が動きだしたのに、球美の里の保養が休止になり、残念です。



☆保健室のリニューアル☆

保健室は湿度が高く、カビが生えやすい環境となっていました。その環境を変えて快適な保健室にすること、そしてボランティアのみなさんやスタッフの休憩所としても過ごしやすいようにと、2020年1月から2月の間、保健室のリニューアルを行いました。木曽檜を用いた保健室は、外観はあまり変化がありませんが、建物の中は檜材がふんだんに使われた、檜の香りでいっぱい場所になりました。



球美の里・プログラム紹介③

たのしいがいっぱい！

〈空手教室〉

空手発祥の地沖縄。久米島にも空手の道場があります。琉球古武道信武館吉本道場の館長である吉本景正先生が球美の里にいらっしやり、子どもたちに空手の魅力を伝えてくれます。

まず、空手は沖縄で、とても盛んであること、どのようにして空手が生まれたのかなど歴史の話をしてください。その後、準備体操、けがをしないように体を動かしていきます。続いて、空手の練習。突き・受け・蹴りを練習した後、基本の型を一通り行います。休憩した後は琉球古武道です。サイやヌンチャ



ク、トンファーなどの道具を使うのが琉球古武道です。子どもたちはヌンチャクを体験。2本の棒をひもでつないだこの道具は扱いが難しく、みんな試行錯誤で動き方を教わっています。久米島の伝統を体験する大切なプログラムの一つとなっています。

ウミサトごはん！

第2回

〈作り方〉

- ①薄力粉とベーキングパウダーを合わせてふるいにかける。
- ②卵をといて、三温糖→紅芋ペースト→サラダ油、の順に加えながらヘラで混ぜる。
- ③②にふるいにかけた①を合わせて、耳たぶぐらいまでのかたさにする。
〈注意〉水は絶対に加えない！！
- ④耳たぶのかたさになったら、30分から1時間ねかせる。
- ⑤40ぐらいの団子にして、170度の油で揚げる。浮いてきて花開くように割れ目ができてきつね色になったら、引き上げる。



まあさんどう(おいしい)

☆サーターアンダギー☆ (材料)

- 薄力粉 1kg
- 三温糖 600～700g
- 紅芋ペースト500g(入れなくてOK)
- ベーキングパウダー 大さじ2
- 卵 8個
- サラダ油 大さじ2

* 紅芋ペーストをいれないプレーン味にするときは、卵を10個にしてください

* この分量で100個以上作ることができます。

Message タッチインピースから

私たち NPO 法人タッチインピースが球美の里でのタッチケアをさせていただくようになったのは2012年からです。

少しでも福島の子どもの力になりたいと思い、支援者さんやお手伝いして下さるボランティアセラピスト達のご協力のお陰で、今もおこの活動を続けることができます。最近では久米島在住のセラピストの方々にもお手伝いいただいております、とてもありがたいです。

そしていつも快く私たちを受け入れて下さる球美の里のスタッフのみなさま、ありがとうございます。球美の里では専用のタッチケアルームがあり、子ども一人一人と向き合いながら貴重な時間を過ごしますが、あの空間は子ども達にとっての保健室のようだといつも思います。家族のことや友達のことをポツリポツリと話し始めたり、相談事や得意なことを色々と教えてくれる子がいたり、みんなの前では元気いっぱいの子が、タッチケアルームでは静かに少し緊張しながら受け、そのうちにすっかり寝てしまう様子もまた愛おしく感じます。子ども達の反応は様々ですが、みんなタッチケアは大好きです。

特に初めて親元を離れて寝泊りする生活を経験する子には、身体や心を緩めるいい時間になっていると思います。身体の様子もちろんそれぞれですが、便秘やアレルギー、首や背中が固い子がよくある症状です。頭皮がカチカチな子もいます。

身体は小さくとも、その固い身体は大人のように。しかしやはり若い細胞は違います。

身体が緩むのが早い！ 素直なんですよ。身も心も。

タッチインピース 小笠原 有佳子

福島放射能汚染問題は今も進行形

この数か月間、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの生活は一変してしまいました。目に見えないものを恐れるこの感覚は、2011年3月の原発事故を思い出します。

原発事故から丸9年が経ち、社会の関心も薄れてきているように感じます。毎年3月にメモリアル的に報道される震災関連のニュースは「忘れてはいけないもの」のような形になっていますが、放射能汚染と被ばくの不安と共に暮らす私たちにとっては毎日が「3.11」、忘れたくても忘れられない、無かったことになどできないものです。

放射能汚染だけでなく、原発建屋の解体作業や汚染水処理など問題は山積み状態です。

新型コロナウイルスなど旬のニュースの影に追いやられながら、福島の放射能汚染問題は今も進行形で続いています。

下の図表は今年の3月にいわき市内の公園を測定した結果です。

空間線量を見ると、数値に大きな差は見られませんが、土自体を測定してみると、場所によって汚染の高いところが多くあります。

子どもたちは遊具やグラウンドで遊ぶだけでなく、かくれんぼや砂遊びをしたりしながら、公園内の様々な場所を行き交います。

目に見えない、におわない、痛みも感じない放射性物質は、測ることで初めて汚染の実相を知ることができます。ただ漠然とした不安を持つのではなく、細かなデータをきちんと公表し、自分たちにできる策を講じていくことが必要だと思います。

福島の子どもたちは、夏、冬、春の長期休みに保養に出ることが習慣化されています。

たちねでは、沖縄県久米島町の保養と、イタリアへの保養の2企画を実施していますが、新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し、今年度の開催は中止となりました。

しかし、今こうしている間にも原発建屋では危険を伴う作業が行われ、放射能汚染は変わらず続いています。そして、その環境の中で子どもたちは日々成長しています。

廃炉作業が全て完了し、放射能汚染が事故前と変わらないくらいのレベルになるまで、子どもたちの保養も半永久的に続けていかなければなりません。

自然や人との触れ合いの中で子どもたちの感性は磨かれ、心も体も成長します。

新型コロナウイルスの感染拡大が一日も早く収束し、子どもたちが安全な環境でのびのびと健やかに成長していけるよう願っております。



測定試料	採取場所	空間線量 (地表)	測定結果(Bq/kg)
⑭土壌	公園四隅	0.08μSv/h	Cs137 432±50
			Cs134 26±6
⑮土壌	滑り台下	0.07μSv/h	Cs137 132±15
			Cs134 10±2
⑯土壌	公園四隅	0.08μSv/h	Cs137 2250±266
			Cs134 112±23
⑰土壌	公園四隅	0.09μSv/h	Cs137 1090±119
			Cs134 74±10

Information



★保養再開のお知らせ★

1 ページでお伝えしましたように、新型コロナウイルスが収束するまでの間、久米島の球美の里での保養は一時お休みさせていただくことにいたしました。離島である久米島の医療体制を考慮し、保養者のためにも、久米島の方々のためにも、リスクを冒すことはできないとの判断です。

しかし、福島の子どもたちは今も保養を必要としています。8 月からは、感染リスクを極力回避する形で、バスで移動できるエリアでの保養を再開します。夏休みには、8 月 19 日(水)～22 日(土)の3泊4日の日程で、長野県富士見町にある川崎市八ヶ岳少年自然の家を保養地として、「沖縄・球美の里子ども保養プロジェクト in 長野」(学童保養)を実施します。9 月 8 日(火)～12 日(土)には山梨県清里にある清泉寮で、「沖縄・球美の里子ども保養プロジェクト in 山梨」(母子保養)を実施します。どちらも、安全面を考慮し、

不特定多数との接触を避けるため、福島から貸切バスでの移動になります。

その後も引き続き保養を行う予定です。詳細が決まり次第、沖縄・球美の里のウェブサイトでお知らせします。

今後、久米島で安心して保養できる日が来ましたら、久米島の施設も再開します。一日も早く、福島の子どもたちが久米島での保養を再開できる日がくることを祈っています。

今後ともみなさまからの引き続きのご支援をお願いいたします。

※現在、ボランティアの公募はしておりません。応募をご検討いただいておりますみなさまには申し訳ありません。久米島での保養再開時には、ホームページで改めて公募させていただきます。

★球美の里の総会を開催しました★

2020 年(令和 2 年)6 月 6 日(土)、沖縄・球美の里第 8 回定期総会を開催しました。2019 年度の事業報告・決算報告、2020 年度の事業計画・収支予算などを決議し、無事に終了しました。今回の総会は、現在の新型コロナの影響を受けて、「ウェブ会議」(定款第 27 条による)で行い、新型コロナの影響で現在中止となっている保養のあり方についてなど話し合いました。

また、たらちね・こども保養相談所の職員からは、年間収支の説明や保養説明会の様子・尿中セシウム検査等についてデータを交えた報告がされました。

※昨年度の会計報告は、球美の里のウェブサイト「沖縄・球美の里について」→「収支報告」でご覧いただけます。

★ご寄付のお礼とお願い★

多くのみなさまから、ご寄付や品物のご提供等、あたたかいご支援をいただきました。改めてお礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大により 3 月から中止していた保養も再開いたします。みなさまの引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

※紙面の都合により寄付金をいただいた団体名のみ掲載させていただきます。

※ウェブ上でウィッシュリスト公開後、いろいろな品物をみなさまより提供していただいています。



第 5 次保養の子どもたちの絵

◎ご寄付いただいたみなさま

(団体からのご寄付・2020 年 1～6 月／順不同・敬称略)

ドリームフォーキッズジャパン、スイスジャパンフェスタ、沖縄カカオプロジェクト(ネパリパザーロ)、Joyson Safety Systems Japan、比嘉成人会、ソソホラ、ラッシュジャパン、未来の福島こども基金、アトリエニキティキ、ドテラジャパン、普連土学園宗教委員会、横浜青葉クリニック、日本キリスト教団沼津岳南教会、プロゴルファー上原彩子(ゆび募金/ジャパンカインドネス協会)、ゆの実会<ウイズアス・プロジェクト>、こども支援ルームコクーン、儀間建設、パルシステム東京 世田谷連絡会、キッチンファイブ、タローベーカリー、ジュピマール、WE21 ジャパン・おだわら、彩雲リーディング、ポルトリブレ・デ・レーヴァ、ゴールドマン・サックス証券、パルシステム東京、フライブルク市民大学(ドイツ)、アウレオ、シェア・ワールド、麦っ子畑保育園、Japan Bazar Bremen 2020(ドイツ)

沖縄・球美の里への寄付口座／クレジットのご案内

ゆうちょ銀行	00160-6-634014 口座名 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里
三菱 UFJ 銀行	高田馬場支店 (053) 普通 1231737 口座名 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里
クレジットで決済 (PAYPAL)	沖縄・球美の里のホームページ「寄付する」からお申し込みいただけます。

※ ゆうちょ口座から毎月自動的に定額ご寄付いただくことができます。月額1,000円から自由に設定でき、一度手続きをすれば、以降の郵便局からの振込手続きが不要となります。ご希望の方に専用の「自動払込利用申込書」を東京本部より送りますので、お問い合わせください。

※ お願い：寄付をしてくださった方は、払込用紙に「ご住所・ご氏名・ご連絡先の電話番号かメールアドレス」をご記載くださいますようお願いいたします。払込用紙を使わない場合（ネット送金など）は、お礼のご連絡や領収書のご送付のため、ご寄付くださった旨、お電話かファックス、メールでお知らせください。お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。

※ 認定 NPO 法人への寄付の寄付控除について：会社や団体、個人が認定 NPO 法人に寄付された場合、所得控除・税額控除の対象になります。球美の里も活動内容が認められて、2015 年 7 月に認定をいただくことができました。控除を受ける場合は、領収書が必要となりますので、寄付をしてくださった際に球美の里の東京本部からお送りする領収書を保管の上、確定申告をしてください。詳細は、地域の課税窓口か球美の里までお問い合わせください。

★球美の里の NEWS LETTER『球美の里だより』8号を発行します★

球美の里のニュースレター『球美の里だより』8号をお届けします。球美の里のご支援を続けてくださっているみなさま、ぜひ一読いただき、ご意見やご感想をお寄せください。また、ご家族やご友人にもご紹介いただき、球美の里への支援の輪をさらに広げていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願い致します。

このニュースレターは、球美の里のホームページからカラーでご覧いただくことができます。「ニュースレターはホームページで見るので、送付不要」という方は、球美の里の東京本部までご連絡をください。

☆連絡先：沖縄・球美の里 東京本部

メールアドレス tokyo@kuminosato.net

電話 03-6205-6139 FAX 03-6205-6140

※メールや FAX をいただく際には、ご住所・お名前も

ご記入くださいますようお願いいたします。

*『球美の里だより』は年数回の発行を予定しています（不定期）。

*ご寄付くださる方の便宜を考慮して郵便局の払込用紙付のチラシを同封させていただきましたが、寄付を強要するものではありません。

【編集後記】7 ページで総会の様子を掲載、無事終了したとお伝えしていますが、実際には、この紙面でも書きましたように、総会時の今年度の計画は総会後に大幅な変更を余儀なくされています。これからも変更があるかもしれません。その都度、ウェブサイトにおいて告知する予定です。ご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。



月桃

認定 NPO 法人 沖縄・球美の里 NEWS LETTER『球美の里だより』No. 8

発行 認定 NPO 法人 沖縄・球美の里 東京本部

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-19-7 タックイレブン高田馬場 702 号室

TEL : 03-6205-6139 FAX : 03-6205-6140 メール : tokyo@kuminosato.net

ホームページ : www.kuminosato.com/

保養ブログ : <http://kuminosato.blog.fc2.com/>

フェイスブック : <https://www.facebook.com/kuminosato.net>

インスタグラム : https://www.instagram.com/kumino_sato